

成長の次元＝道德×自己×認知

成長の次元	道德		自己の根拠	認知の構造							
	道德判断の段階	行為類型		自己のパーソパクティブの構造	行動期待の構造	権威の概念	動機づけの概念	認知の段階		社会・世界のパーソパクティブ	
								言語構造	思考の構造	パーソパクティブ	正義の観念
1	前慣習的段階 (9歳ごろまで)	権威に左右される相互行為	抑圧	個の行為パーソパクティブの相互応報結合	個としての行動パターン	準拠的個人の権威: 外的に拘束された恣意	準拠的個人に対する忠誠心: 報酬/処罰による方向づけ	統語論的構造 (明証的構造)	情報の確認	自己中心的パーソパクティブ	命令と服従の相補性
2		自分の利害に左右される協同行為	エゴ						情報の整理		補償の対称性
3	慣習的段階 (9歳から14歳ごろまで)	役割行動	スーパーエゴ	観察者パーソパクティブと参加者パーソパクティブの調整	グループとして一般化された行動パターン: 社会的役割	超個人的恣意の内面化された権威: 忠誠心	義務対傾向性		差異; 比較・因果	未成熟グループのパーソパクティブ	役割同調性
4		規範統治相互行為			グループとして一般化された行動役割: 規範の体系	超個人的集合意志の内面化された権威: 正当性		論理的思考	集会的グループのパーソパクティブ (システムの観点)	現存する規範の体系への同調性	
5	脱慣習的段階 (14歳から40歳ごろまで)	ディスクルス	モニタリングエゴ	話者のパーソパクティブと世界のパーソパクティブの統合	規範をテストする規則: 原理	理想的妥当対社会的通用	自律性対他律性	語用論的構造 (状況に埋め込まれた構造)	批判的思考	(社会にアプリオリな)原理のパーソパクティブ	正義の原理による方向づけ
6			クリエイティブエゴ		原理をテストする規則: 規範の正当化の手続き				創造的思考		手続きに基づくパーソパクティブ(理想的役割取得)
7	境地段階 (40歳～)	メディテーション	エゴレス	社会と自然と精神との循環からのパーソパクティブ	社会と自然と精神との循環を可能にする法の探求	社会と自然と精神との循環への畏敬	無欲	詩的構造	DE-sign思考	社会と自然と精神との循環のパーソパクティブ	法の正当性・信頼性・妥当性の共有

※ユルゲン・ハーバーマス「道德意識とコミュニケーション行為」の表を基本に、本間がアレンジ。「成長の次元7」と「自己の根拠」、「認知の段階」は追加。